「資源循環型パッケージングカンパニー」を目ざして

2023年12月期第１四半期決算説明資料

竹本容器株式会社

（東証プライム市場　4248）

2023年4月28日

TAKEMOTO

資料構成

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

3.参考資料

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

1Q業績総括 ①

【 業績 】

- ■ 連結売上高は、35億2百万円（ 前年同期比2.9%減 ）
- ■ 連結営業利益は、1億22百万円（ 前年同期比56.0%減 ）
- ■ EBITDAは、3億62百万円（ 前年同期比31.0%減 ）

【 特徴 】

- ■ 本格的な受注の回復には至っていないものの、お客様の環境への問題意識の高まりから資源循環型パッケージング売上が牽引し国内売上は増加
- ■ インドは受注が好調で売上増加。一方、中国はゼロコロナ政策解除後も消費マインド冷え込み続き受注減少、売上は低調に推移
- ■ お客様のご要望に対応したバイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、詰替え容器が続伸。新たに追加した区分※を含め資源循環型パッケージング売上は7億98百万円(連結売上高の22.8%) と拡大

  ※今期より「資源循環が容易に可能な製品」を集計対象に追加しております
- ■ 資源高の影響を受け、国内原材料費及び水道光熱費負担は前年同期比で増加

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

1Q業績総括 ②

【 日本 】

■ 売上面では、お客様の環境意識が一層高まったことから資源循環型パッケージング売上が引き続き伸長。一方で年初まで受注水準が本格回復に至らず国内売上は27億円10百万円 (前年同期比1.5%増加)にとどまるも、3月月次の受注金額は大幅増加

■ バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、詰替え容器については引き続き需要増加

■ コスト面では資源高の影響を受けて、原材料費及び水道光熱費の負担増加。

■ 営業利益については、販管費の抑制に取り組むも、コスト増による粗利額減少の影響が響き、１億54百万円(前年同期比30.1%減少)と減益に

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1Q業績総括 ③

【 中国 】

■ 昨年12月初旬のゼロコロナ政策解除後も消費が回復せず、お客様側の発注も慎重で受注が低調に推移。これにより、売上高は7億14百万円(ロックダウン開始前の前年同期比で15.9%減少)となった

■ 売上高の減少から工場稼働も低下、粗利額が減少し29百万円の営業赤字となった

【 インド 】

■ インド化粧品市場の活況が継続していることに加えて、営業活動を通じて当社の特徴(アイテム数の多さ等)が浸透したこともあり、売上高は96百万円（前年同期比58.5%増）と四半期単位の最高額を更新(受注も好調)

■ 売上続伸により粗利額でも黒字を確保。引き続き生産能力向上による効率アップ、製品ラインナップの増加による顧客拡大等の諸施策により、営業利益の黒字化に向けた取組みを継続

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

結城事業所の新ブロー棟増築

- 当社結城事業所(茨城県)に新ブロー棟が完成し、2023年3月に生産開始
- 生産エリアを拡張し成形機の設置スペースを確保。従来比約2倍の生産能力まで強化可能。次工程の印刷加工工程と内部接続することで生産性も改善
- 3月末時点で成形機8台が稼働。今後は資源循環型製品向けの成形機を導入予定

【新ブロー棟の外観】

【成形機設置前の生産エリア】

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

資料構成

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

3.参考資料

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

2023年12月期第１四半期連結決算ハイライト

	2022年第１四半期（1-3月期）¥18.31/RMB ¥116.34/USD	2023年第１四半期（1-3月期）¥19.35/RMB ¥132.42/USD	前年同期比		2023年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円		百万円	
売上高	3,606	3,502	▲103	▲2.9%	▲296	▲7.8%
営業利益	277	122	▲155	▲56.0%	▲64	▲34.5%
売上高営業利益率	7.7%	3.5%	▲4.2P	–	▲1.4P	–
経常利益	318	133	▲184	▲58.0%	▲63	▲32.2%
四半期純利益	201	84	▲117	▲58.3%	▲45	▲35.1%

減価償却費	248	240
原材料費	532	541
設備投資額	47	683
（うち　金型）	27	41
EBITDA	525	362
EBITDA比率	14.6%	10.4%

※収益認識基準の変更に伴い、2022年第1四半期から有償支給した支給品等に係る収益は認識しない方法に変更されております

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2．2023年12月期第１四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2022年第１四半期	2023年第１四半期	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	計画比 増減	計画比 増減率
売上高	2,669	2,710	+41	+1.5%	▲174	▲6.1%
営業利益	220	154	▲66	▲30.1%	▲85	▲35.7%
営業利益率	8.3%	5.7%	▲2.6P	–	▲2.6P	–

・日本はお客様の環境意識の一層の高まりから資源循環型パッケージング売上が引き続き伸長。受注は本格回復までに至っていないものの、3月の受注状況は大幅増と回復の兆しが見え始める

・利益面では資源高による負担増が継続。販売価格への転嫁は進めているものの営業利益率は5.7%と2.6P低下

中国	2022年第１四半期 ¥18.31/RMB	2023年第１四半期 ¥19.35/RMB	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	計画比 増減	計画比 増減率
売上高	850 (46)	714 (36)	▲135 (▲9)	▲15.9% ▲20.5%	▲85 (▲3)	▲10.6% ▲7.6%
営業利益	59 (3)	▲29 (▲1)	▲88 (▲4)	▲148.7% ▲146.1%	+15 (+0)	▲34.2% –
営業利益率	7.0%	▲4.1%	▲11.1P	–	+1.5P	–

※（）内はRMBベース:百万元

・中国は昨年12月のゼロコロナ政策解除後も化粧品需要が回復せず売上は低迷

・利益面でも受注減少により稼働が低下したことから粗利額が減少し営業利益は赤字に

その他地域	2022年第１四半期 ¥116.34/US$ ¥130.40/€ ¥1.56/INR ¥3.52/TB	2023年第１四半期 ¥132.42/US$ ¥142.16/€ ¥1.62/INR ¥3.91/TB	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	計画比 増減	計画比 増減率
売上高	145	139	▲6	▲4.3%	▲31	▲18.4%
営業利益	▲5	▲5	▲0	–	+4	–

・アメリカは売上が計画比、昨年比減で推移。大口顧客の受注減の影響あり

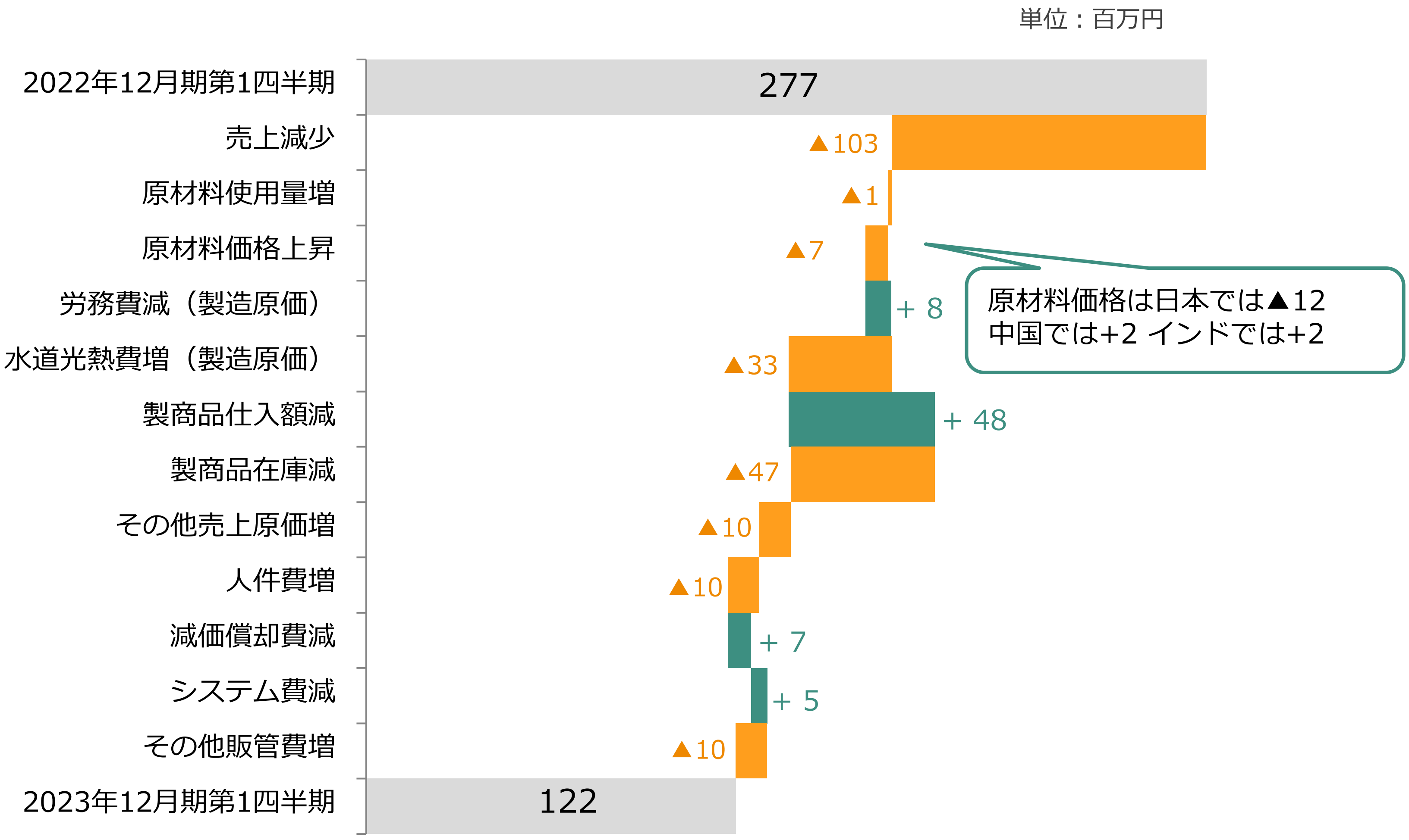
・オランダは売上が計画比、昨年比増で推移。国際運送費の安定で受注が回復傾向に

・インド国内化粧品市場の需要は旺盛。製品拡充効果もあり、新規顧客を取込み需要増。売上は昨年比増で推移

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

2023年12月期第1四半期　営業利益の変動分析

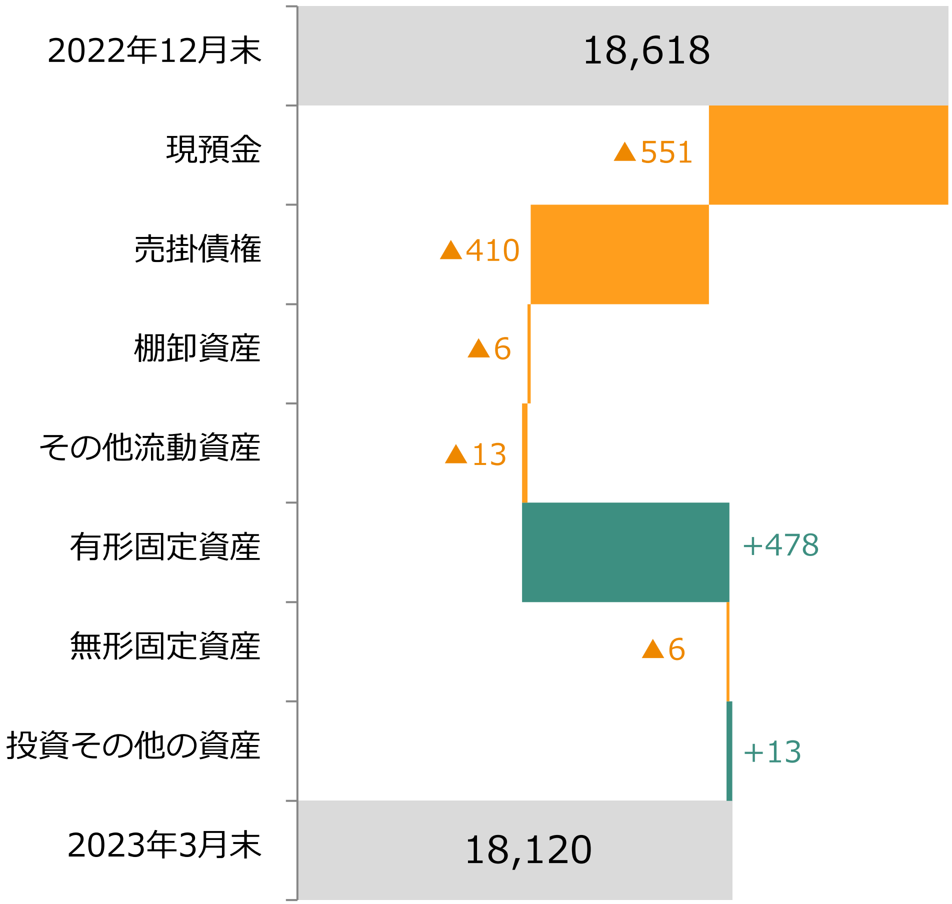


Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

2023年12月期第1四半期　連結貸借対照表　資産の部

単位：百万円



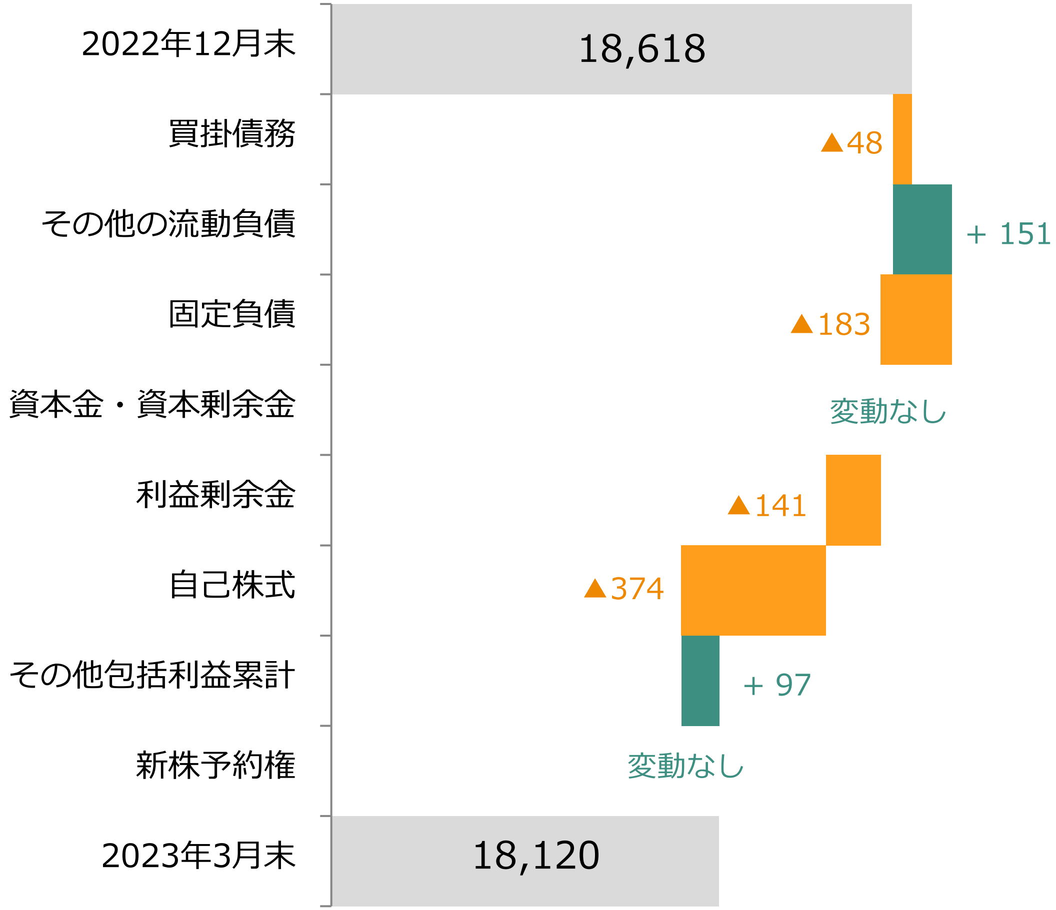
■ **流動資産**	**▲ 982**
現預金	▲ 551
売掛債権	▲ 410
棚卸資産	▲ 6
■ **固定資産**	**＋ 484**
建物及び構築物	＋ 709
工具器具備品	＋ 38
建設仮勘定	▲ 282

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

2023年12月期第1四半期　連結貸借対照表　負債・純資産の部

単位：百万円



■ **流動負債**	**＋ 103**
設備支払手形	＋ 93
未払費用	＋ 71
未払金	＋ 62
■ **固定負債**	**▲ 183**
長期借入金	▲ 167
■ **純資産**	**▲ 417**
利益剰余金（当期純利益分）	＋ 84
（配当金支払）	▲ 225
自己株式	▲ 374
為替換算調整額	＋ 97

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

資料構成

1. 2023年12月期第１四半期トピックス

2. 2023年12月期第１四半期業績概要

3.参考資料

3. 参考資料

TAKEMOTO

地域別グループ企業業績（2021年からの四半期推移）

（百万円）

地域		2021年 第１四半期	2021年 第２四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第１四半期	2022年 第２四半期	2022年 第３四半期	2022年 第4四半期	2023年 第１四半期
日本	売上高	2,890	3,086	3,196	2,832	2,669	2,923	2,885	2,912	2,710
	粗利額	997	981	1,037	925	817	881	828	814	756
	営業利益	410	327	451	296	220	267	225	208	154
中国	売上高	871	911	875	886	850	650	989	675	714
	粗利額	254	282	204	230	229	107	182	131	138
	営業利益	112	126	35	60	59	▲58	▲23	▲36	▲29
欧米	売上高	61	105	66	64	70	39	44	51	24
	粗利額	13	21	14	12	17	13	13	16	8
	営業利益	0	7	1	▲6	4	0	0	1	▲7
その他アジア	売上高	38	48	40	53	75	83	89	73	114
	粗利額	▲2	3	0	0	11	12	14	16	25
	営業利益	▲20	▲13	▲19	▲21	▲9	▲9	▲9	▲13	2
連結	売上高	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502
	粗利額	1,263	1,288	1,257	1,169	1,077	1,014	1,040	976	929
	営業利益	503	450	472	328	277	202	195	161	122

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2018年からの年間推移）

（百万円）

地域		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	12,063	+9.5%	11,741	▲2.7%	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%	11,390	▲5.1%
	粗利額	3,669	+9.7%	3,730	+1.7%	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%	3,341	▲15.2%
	営業利益	1,242	+15.3%	1,277	+2.8%	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%	922	▲37.9%
中国	売上高	3,921	+26.7%	3,438	▲12.3%	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%	3,165	▲10.7%
	粗利額	1,102	+27.8%	1,003	▲9.0%	993	▲1.0%	971	▲2.2%	651	▲33.0%
	営業利益	515	+52.9%	433	▲15.8%	472	+8.9%	335	▲29.0%	▲59	—
欧米	売上高	289	▲17.5%	164	▲43.0%	184	+12.0%	297	+61.2%	206	▲30.5%
	粗利額	69	▲16.1%	40	▲40.8%	41	+1.7%	62	+49.4%	60	▲2.1%
	営業利益	▲8	—	▲31	—	▲10	—	3	—	7	+147.8%
その他アジア	売上高	33	+23.4%	69	+106.5%	109	+57.7%	181	+64.7%	321	+77.6%
	粗利額	▲25	—	▲49	—	▲39	—	2	—	55	+2,472%
	営業利益	▲119	—	▲147	—	▲119	—	▲74	—	▲41	—
連結	売上高	16,022	+12.8%	15,196	▲5.2%	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%	14,885	▲5.6%
	粗利額	4,817	+12.0%	4,726	▲1.9%	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%	4,107	▲17.5%
	営業利益	1,630	+15.5%	1,538	▲5.7%	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%	836	▲52.4%

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 参考資料

区分別販売実績（2021年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第１四半期	2021年 第２四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第１四半期	2022年 第２四半期	2022年 第３四半期	2022年 第4四半期	2023年 第１四半期
化粧・美容	2,054	2,399	2,380	2,069	2,109	2,293	2,315	2,219	1,998
日用・雑貨	249	232	229	219	217	205	215	206	263
食品・健康食品	352	356	389	372	323	326	346	339	337
化学・医薬	243	244	340	267	200	199	217	188	194
卸、その他	903	845	765	859	754	628	870	706	707
合計	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502

区分別販売実績（2021年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第１四半期	2021年 第２四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第１四半期	2022年 第２四半期	2022年 第３四半期	2022年 第4四半期	2023年 第１四半期
スタンダードボトル	2,791	2,980	2,993	2,920	2,769	2,759	2,974	2,743	2,677
ビスポーク	352	366	417	280	312	292	385	312	333
他社製品	583	679	634	489	483	589	550	565	465
材料その他	75	52	60	98	40	12	54	38	25
合計	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

TAKEMOTO

区分別販売実績（2018年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2018年はインバウンド需要もあり売上高は過去最高を記録。2019年は中国のEC規制がきっかけとなり化粧品需要が減少。さらに容器不足に起因する先行調達の反動もあり売上高は大幅減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要は増加。2021年は資源循環型パッケージングの伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大。2022年は３月までの行動制限の影響や下期の第７波、８波と繰り返される感染者数増加の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至らず。中国では３月下旬からのロックダウンの影響や12月のゼロコロナ政策解除により新規感染者数が拡大し消費が低迷。インドは需要が旺盛で売上は拡大中

（百万円）

	2018年			2019年			2020年			2021年			2022年		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
		%	%		%	%		%	%		%	%		%	%
化粧・美容	9,651	60.2	13.4	8,802	57.9	▲8.8	8,147	54.8	▲7.4	8,904	56.4	9.3	8,938	56.7	0.4
日用・雑貨	697	4.4	1.8	705	4.6	1.0	1,019	6.9	44.5	930	5.9	▲8.7	845	5.4	▲9.1
食品・健康食品	1,310	8.2	7.3	1,385	9.1	5.7	1,347	9.1	▲2.8	1,470	9.3	9.1	1,335	58.5	▲9.2
化学・医薬	838	5.2	26.6	812	5.3	▲3.1	906	6.1	11.7	1,096	7.0	20.9	805	5.1	▲26.5
卸、その他	3,523	22.0	13.0	3,490	23.0	▲1.0	3,442	23.2	▲1.4	3,374	21.4	▲2.0	2,960	18.8	▲12.3
合計	16,022	100.0	12.8	15,196	100.0	▲5.2	14,863	100.0	▲2.2	15,776	100.0	6.1	14,885	100.0	▲5.6

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 参考資料

受注実績（2021年からの四半期推移）

(百万円)

	2021年 第１四半期	2021年 第２四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第１四半期	2022年 第２四半期	2022年 第３四半期	2022年 第４四半期	2023年 第１四半期
国内	3,380	3,474	2,600	2,924	2,904	3,086	2,894	2,956	2,909
海外	996	1,006	951	1,264	787	926	865	819	797
(うち中国)	875	869	872	1,070	676	781	735	678	640
連結合計	4,376	4,480	3,551	4,189	3,691	4,012	3,760	3,775	3,707

受注実績（2018年からの年間推移）

2018年は国内のインバウンド需要もあり容器需要が旺盛で受注は増加。2019年は容器不足に起因する先行調達の反動と中国のEC規制の影響で受注は大きく低迷。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加。2021年は資源循環型パッケージングの需要増あり。年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少。2022年は国内は３月までの行動制限の影響や下期の第７波、８波の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至っていない状況。中国はゼロコロナ政策による移動制限の影響で需要が停滞。12月にはゼロコロナ政策撤廃も先行き懸念残り消費停滞、受注は大幅減

(百万円)

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	13,608	15.6%	10,815	▲20.5%	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%	11,841	▲3.5%
海外	3,875	6.3%	3,812	▲1.6%	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%	3,398	▲15.7%
(うち中国)	3,610	9.0%	3,598	▲0.3%	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%	2,871	▲18.1%
連結合計	17,484	13.4%	14,627	▲16.3%	16,051	9.7%	16,308	1.6%	15,240	▲6.5%

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 参考資料

為替レート（PL使用レート）

	2021年 第１四半期	2021年 第２四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第１四半期	2022年 第２四半期	2022年 第３四半期	2022年 第４四半期	2023年 第１四半期
円／元	16.38	16.67	16.79	17.04	18.31	18.97	19.38	19.50	19.35
円／米ドル	106.09	107.82	108.58	109.90	116.34	123.14	128.30	131.62	132.42
円／ユーロ	127.81	129.89	129.87	129.91	130.40	134.39	136.05	138.14	142.16
円／ルピー	1.47	1.48	1.48	1.50	1.56	1.62	1.67	1.68	1.62
円／バーツ	3.50	3.50	3.45	3.44	3.52	3.65	3.70	3.75	3.91

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 参考資料

金型開発状況　金型の資産状況

3,807型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり
財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

（金型数）

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年1Q
日本	完成金型数	152	123	59	97	93	65	16
	廃却・移動	▲30	▲54	▲80	▲99	▲16	▲30	▲28
	保有金型数	2,273	2,342	2,321	2,319	2,396	2,431	2,419
中国	完成金型数	106	96	74	84	89	32	10
	廃却・移動	▲22	9	7	▲159	▲8	▲19	▲3
	保有金型数	998	1,103	1,184	1,109	1,190	1,203	1,210
オランダ	完成金型数	-	-	19	4	-	-	-
	廃却・移動	-	-	-	-	▲23	-	-
	保有金型数	-	-	19	23	-	-	-
インド	完成金型数	-	18	27	48	45	31	-
	廃却・移動	-	-	-	-	-	-	9
	保有金型数	-	18	45	93	138	169	178
連結	完成金型数合計	258	237	179	233	227	128	26
	保有金型数	3,271	3,463	3,569	3,544	3,724	3,803	3,807

（百万円）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年1Q
連結取得金額	4,706	4,875	4,827	4,654	5,003	5,220	5,255
連結減価償却累計額	▲4,048	▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,743	▲4,789
連結金型(純額)	657	727	651	490	550	477	465
純額割合	14.0%	14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	9.1%	8.9%

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

TAKEMOTO

竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子

会社名	竹本容器株式会社 Takemoto Yohki Co., Ltd.
設立年月	1953年5月19日（昭和28年）
代表者	代表取締役社長　竹本　笑子
所在地	東京都台東区松が谷2丁目21番5号
事業内容	容器の企画・開発・製造・販売
資本金	8億342万1,725円（2022年12月31日現在）
発行済株式数	12,529,200株（2022年12月31日現在）
単元株主数	8,899名（2022年12月31日現在）
グループ従業員数	879名（2022年12月31日現在）
上場市場	東京証券取引所プライム市場 [　証券コード：4248　]
ホームページ	https://www.takemotopkg.com

FSSC 22000
JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
（印刷製品は除く）

FSMS,FSSC
JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造

本社

合羽橋ショールーム

大阪営業所・ショールーム

福岡営業所・ショールーム

名古屋営業所・ショールーム

北海道営業所

TOGETHER LAB

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報でありますが、その内容を当社として保証するものではありません。
予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。
投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.

すべては“ Standout ”な
パッケージングソリューション
創造のために

Copyright © 2023 Takemoto Yohki Co., Ltd. All Rights Reserved.